(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第4211068号
(P4211068)

(45)発行日　平成21年1月21日(2009.1.21)　(24)登録日　平成20年11月7日(2008.11.7)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 304D
A63F 7/02 326D
A63F 7/02 326C

請求項の数 1　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平9-277622
(22)出願日　平成9年10月9日(1997.10.9)
(65)公開番号　特開平11-114145
(43)公開日　平成11年4月27日(1999.4.27)
審査請求日　平成16年9月13日(2004.9.13)

前置審査

(73)特許権者　000241234
豊丸産業株式会社
愛知県名古屋市中村区長戸井町３丁目１２番地
(74)代理人　100078721
弁理士　石田　喜樹
(72)発明者　山森　茂喜
名古屋市中村区長戸井町３丁目１２番地　豊丸産業株式会社内
(72)発明者　植田　泰則
名古屋市中村区長戸井町３丁目１２番地　豊丸産業株式会社内

審査官　篠崎　正

最終頁に続く

(54)【発明の名称】パチンコ機

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技盤面の上方に、嵌合凹部及び複数の取付片を有する飾り部材が配置されているとともに、遊技盤面の前方に、前面枠が片開き自在に取り付けられたパチンコ機であって、
前記前面枠の裏側に、ガラス板と当該ガラス板の周縁を覆うフレームとにより形成されたガラス扉が、下端縁を中心に後方へ傾動自在に、且つ、前記フレームの前面側に取り付けられた磁石の前記前面枠裏側への吸着により起立状態を保持可能に設置されており、そのガラス扉の上方に、前記飾り部材が、前記嵌合凹部に前記フレームの上端に懸架された桟状突起を嵌入させ、かつ、前記取付片を前記フレームに設けられた溝に係合させることによって、着脱可能に取り付けられていることを特徴とするパチンコ機。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、パチンコ機に関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
従来のパチンコ機としては、図５の如きものが知られている。このパチンコ機５１は、外周を覆う機枠５２の左端縁に、ガラス枠５４を嵌め込んだ前面枠５３が、片開き自在に蝶着されている。前面枠５３の後方には、機構板６１が設置されており、その機構板６１の前面の上方には、遊技盤５５が設置されている。遊技盤５５の表面には、略円形の遊技領

域５６が設けられており、その遊技領域５６には、図柄表示装置５７、各種の入賞装置５８，５８・・、風車５９等が設置されている。また、遊技領域５６の上方には、遊技盤５５の表面を装飾する目的で、合成樹脂製の飾り部材６０が取り付けられている。かかるパチンコ機５１は、遊技内容が陳腐化した場合には、遊技盤５５と遊技内容を制御する制御装置（図示せず）のみを取り替えて他の部分を継続して使用する（以下、盤面交換という）ことが多い。そして、取り替えられた古い遊技盤５５は、材質毎に分別されて一部がリサイクル利用され、一部が廃棄される。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来のパチンコ機５１は、遊技盤５５に飾り部材６０が取り付けられているので、盤面交換の際に、飾り部材６０も廃棄されてしまうため、盤面交換によって生じる廃棄物の量が多く、その上、盤面交換に多くの費用を要する。

【０００４】

本発明の目的は、盤面交換によって生じる廃棄物の量が少ない上、盤面交換に多くの費用を必要としないパチンコ機を提供することにある。

【０００５】

【課題を解決するための手段】

本発明の構成は、遊技盤面の上方に、嵌合凹部及び複数の取付片を有する飾り部材が配置されているとともに、遊技盤面の前方に、前面枠が片開き自在に取り付けられたパチンコ機であって、前記前面枠の裏側に、ガラス板と当該ガラス板の周縁を覆うフレームとにより形成されたガラス扉が、下端縁を中心に後方へ傾動自在に、且つ、前記フレームの前面側に取り付けられた磁石の前記前面枠裏側への吸着により起立状態を保持可能に設置されており、そのガラス扉の上方に、前記飾り部材が、前記嵌合凹部に前記フレームの上端に懸架された桟状突起を嵌入させ、かつ、前記取付片を前記フレームに設けられた溝に係合させることによって、着脱可能に取り付けられていることにある。

【０００６】

【発明の実施の形態】

以下、本発明のパチンコ機について、図面にしたがって詳細に説明する。

【０００７】

図１、図２は、本発明に係るパチンコ機を示したものであり、パチンコ機１は、周囲を覆う機枠２の左端縁の上側に、前面枠３が、上下一対のヒンジ４，４によって開閉自在に蝶着されている。図３は、前面枠３の側断面を示したものであり、前面枠３は、環状の前パネル５の周縁がコ字状に折り曲げ形成されており、その前パネル５の背面に、環状の後パネル６が係着されている。そして、図２の如く、それらのパネル５，６の開口部分に、ガラス扉７が、下端縁を中心に後方へ傾動可能に取り付けられている。なお、前パネル５の上側の前面には、ランプシェード８が突設されており、左右両側の前面には、装飾体９，９が突設されている。また、前面枠３の上部の前パネル５と後パネル６との間には、ランプユニット１０が設置されている。

【０００８】

ガラス扉７は、ガラス板１１と、その周縁を覆うフレーム１３とによって形成されている。フレーム１３の左右には、それぞれ、溝１４が設けられており、フレーム１３の上端には、桟状突起１５が懸架されている。また、フレーム１３の左右の溝１４，１４の上端際には、ロッド１６が懸架されており、幅が大きくならないように規制されている。さらに、各フレーム１３，１３の左右の下端には、それぞれ水平軸１７が突設されている。そして、ガラス扉７は、各水平軸１７，１７が、前パネル５の裏面に突設された軸受１８に回動可能に枢着されることによって、下端縁を中心に後方へ傾動可能に取り付けられている。

【０００９】

なお、前パネル５の開口部分は、ガラス扉７より一回り小さく形成されており、ガラス扉７が起立した状態においては、各フレーム１３，１３の前面が、前パネル５の開口部分際

の裏面に当接し、ガラス扉７が起立位置より前方に傾動しないようになっている。また、左側のフレーム１３の前面側には磁石（図示せず）が取り付けられており、ガラス扉７が起立した状態で、その磁石が前パネル５の開口部際の裏側に吸着し、ガラス扉７を起立位置に保持するようになっている。一方、ガラス扉７が後方に傾動する場合には、その傾動角度は、後パネル６の下側部分によって、所定角度以下に規制されるようになっている。

【００１０】

また、ガラス扉７の上端には、飾り部材１９が取り付けられている。図４は、飾り部材１９を裏側から見た状態を示したものであり、飾り部材１９は、板状で、下側が円弧状に切り欠かれた形状を有している。そして、前面の上端縁際に、嵌合凹部２１が一直線状に設けられており、左右のサイドに、それぞれ、２個ずつの取付片２０，２０が、板面に対して垂直に設けられている。なお、各取付片２０，２０・・の先端の内側には、係合突起（図示せず）が設けられている。かかる飾り部材１９は、前面の上端縁際に設けられた嵌合凹部２１に、各フレーム１３，１３の上端に懸架された桟状突起１５を嵌入させ、かつ、各取付片２０，２０・・に設けられた係合突起を、保持枠１２の左右のフレーム１３，１３に設けられた溝１４，１４に係合させた状態で、ガラス扉７の上端に設置されている（なお、図３（ａ）は、飾り部材１９をガラス扉７に取り付けた状態を示したものであり、図３（ｂ）は、飾り部材１９をガラス扉７から取り外した状態を示したものである）。そして、前面枠３を機枠２の前方に閉成した場合に、遊技領域２５の上方に位置するようになっている。

【００１１】

一方、図２の如く、前面枠３の後方には、裏面枠２２が設置されており、その裏面枠２２の後側には、機構板２３が設置されている。裏面枠２２も、前面枠３と同様に、機枠２の左端縁に開閉自在に蝶着されており、前面の上側に、図１の如き遊技盤２４が嵌め込み設置されている（図２においては、遊技盤２４の記載が省略されている）。なお、遊技盤２４の前面には、略円形の遊技領域２５が設けられており、その遊技領域２５内には、図柄表示装置２６、各種の入賞装置２７，２７・・、風車２８，２８・・等が設置されているとともに、多くの障害釘（図示せず）が植設されている。また、裏面枠２２の前面の中央より若干下側の左端縁には、前板２９が、開閉自在に蝶着されており、前面枠３の下側に位置した状態になっている。前板２９は、前面に供給皿３０等が設けられており、右側の裏面に磁石３１が固着されている。そして、閉成した場合には、磁石３１が裏面枠の右側に吸着して、閉成位置に保持されるようになっている。なお、前板２９は、前面枠３より前方側に開放しないように構成されている。さらに、裏面枠２２の前面の下側（前板を蝶着した部分の下側）には、貯留皿１２および発射ハンドル３２等が設けられている。

【００１２】

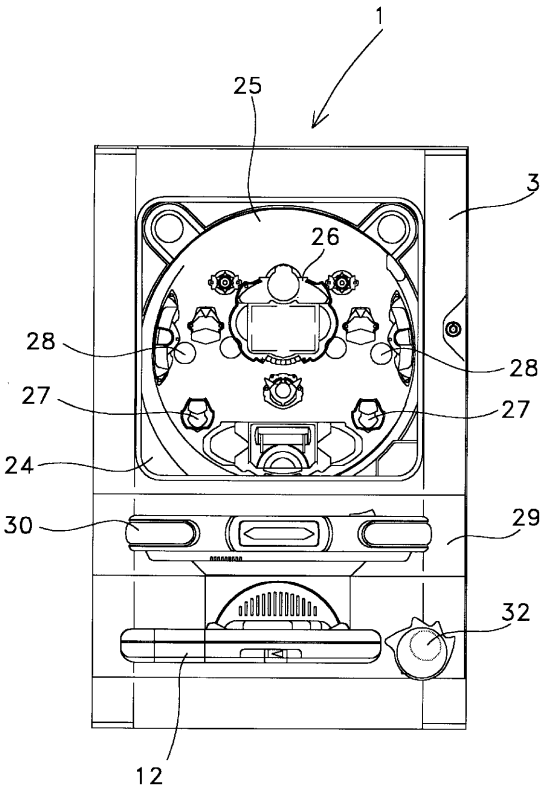
パチンコ機１は、上記の如く、飾り部材１９が前面枠３の裏側に取り付けられており、盤面交換の際に、飾り部材１９を廃棄することなく再利用することができるので、従来のパチンコ機に比べて、盤面交換によって生じる廃棄物の量が少ない上、取り替える新たな遊技盤に飾り部材１９を取り付ける必要がないので、盤面交換にかかる費用を低く抑えることができる。

【００１３】

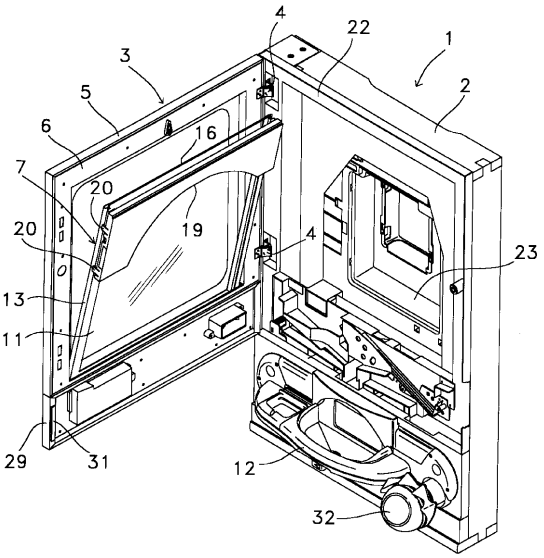
さらに、パチンコ機１は、前面枠３の裏側に、ガラス扉７が、下端縁を中心に後方に傾動自在に設置されているとともに、そのガラス扉７の上方に、飾り部材１９が取り付けられているので、飾り部材１９のみを取り替える必要が生じた場合には、容易に取り替えることができる。なお、後パネル６の下側部分によって、ガラス扉７の後方への傾動角度が所定角度以下に規制されるため、かかる飾り部材１９の取替作業は、きわめて容易である。加えて、飾り部材１９が、前面の上端縁際に設けられた嵌合凹部２１に、各フレーム１３，１３の上端に懸架された桟状突起１５を嵌入させ、かつ、各取付片２０，２０・・に設けられた係合突起を、左右のフレーム１３，１３に設けられた溝１４，１４に係合させた状態でガラス扉７の上端に設置される構造であるため、飾り部材１９を所定位置に短時間で容易に取り付けることができるし、簡単に取り外すこともできる。

【００１４】
なお、本発明のパチンコ機の構成は、上記実施形態の態様に何ら限定されるものではなく、機枠、前面枠、ガラス扉、飾り部材、裏面枠、機構板、遊技盤、供給皿、貯留皿、発射ハンドル等の形状、構造、材質等の構成を、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更できる。
【００１５】
たとえば、前面枠は、必ずしも、後方へ傾動可能なガラス扉を設置したものに限定されず、ガラス板が一体的に嵌め込まれたものでも良い。また、ガラス扉への飾り部材の取付方法も、取付片による係着に限定されず、ガラス扉のフレームへ飾り部材を接着したり、螺着したりする方法を採用することも可能であるし、飾り部材に磁石を装着しその磁力を利用してガラス扉のフレームへ取り付ける方法を採用することも可能である。しかしながら、上記実施形態の如く、取付片を利用して飾り部材を取り付ける場合には、飾り部材の取り付け、および取り外しが容易なものとなる、というメリットがある。加えて、飾り部材は、単なる装飾目的のものでも良いし、電飾ランプ、効果音発生用のスピーカ等を設置したものでも良い。
【００１６】
【発明の効果】
本発明のパチンコ機は、上記の如く構成されているため、盤面交換の際に、飾り部材を廃棄することなく再利用することができるので、従来のパチンコ機に比べて、盤面交換によって生じる廃棄物の量が少ない上、取り替える新たな遊技盤に飾り部材を取り付ける必要がないので、盤面交換にかかる費用を低く抑えることができる。
また、前面枠の裏面に、ガラス扉が、下端縁を中心に後方に傾動自在に設置されているとともに、そのガラス扉の上方に、飾り部材が、嵌合凹部にフレームの上端に懸架された桟状突起を嵌入させ、かつ、各取付片をフレームに設けられた溝に係合させた状態でガラス扉に設置される構造であるため、飾り部材を所定位置に短時間で容易に取り付けることができるし、簡単に取り外すこともできる。
【図面の簡単な説明】
【図１】パチンコ機の正面を示す説明図である。
【図２】パチンコ機の斜視説明図である。
【図３】前面枠、および飾り部材の側面を示す説明図である。
【図４】飾り部材の斜視説明図である。
【図５】従来のパチンコ機を示す斜視説明図である。
【符号の説明】
１・・パチンコ機、２・・機枠、３・・前面枠、４・・ヒンジ、５・・前パネル、６・・後パネル、７・・ガラス扉、８・・ランプシェード、９・・装飾体、１０・・ランプユニット、１１・・ガラス板、１２・・貯留皿、１３・・フレーム、１４・・溝、１５・・桟状突起、１６・・ロッド、１７・・水平軸、１８・・軸受、１９・・飾り部材、２０・・取付片、２１・・嵌合凹部、２２・・裏面枠、２３・・機構板、２４・・遊技盤、２５・・遊技領域、２６・・図柄表示装置、２７・・入賞装置、２８・・風車、２９・・前板、３０・・供給皿、３１・・磁石、３２・・発射ハンドル、５１・・パチンコ機、５２・・機枠、５３・・前面枠、５４・・ガラス枠、５５・・遊技盤、５６・・遊技領域、５７・・図柄表示装置、５８・・入賞装置、５９・・風車、６０・・飾り部材。

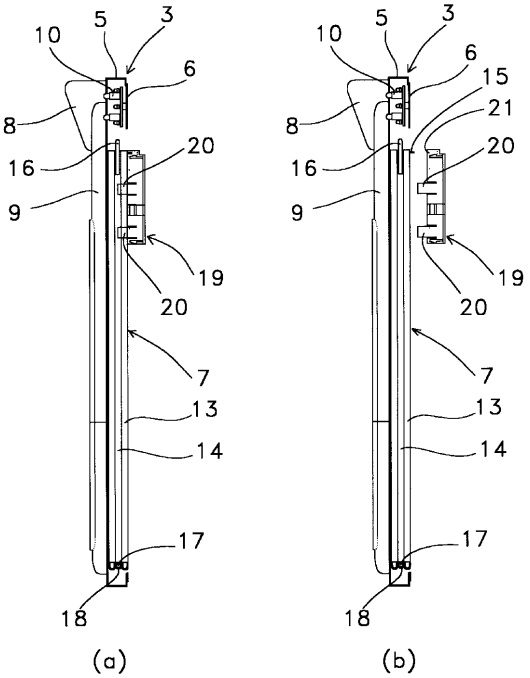
【図１】


1
25
3
26
28
28
27
27
24
30
29
32
12

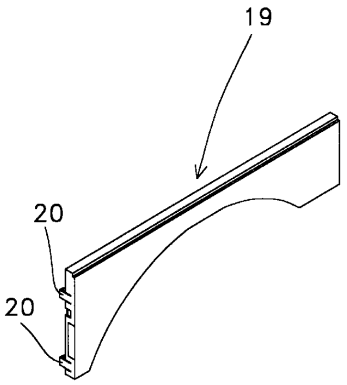
【図２】


4
22
1
3
2
5
6
16
7
20
20
19
4
23
13
11
29
31
12
32

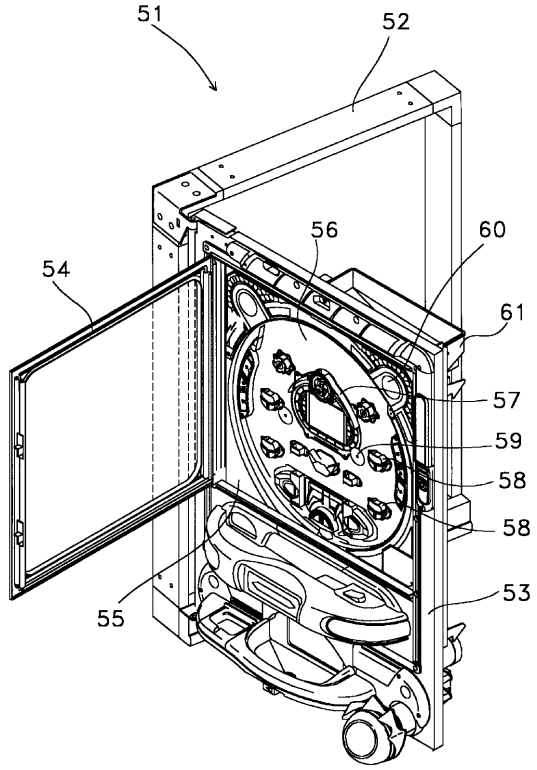
【図３】


10
5
3
6
8
16
20
9
19
20
7
13
14
17
18
(a)
10
5
3
6
15
21
8
16
20
9
19
20
7
13
14
17
18
(b)

【図４】


19
20
20

【図５】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０８－０２４４０５（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－１６４２５５（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－１５５０３８（ＪＰ，Ａ）
特開平０８－２１５３９３（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
A63F 7/02